

事業の基礎情報

実施主体	福光タクシー株式会社
事業実施地域	富山県南砺市福光エリア
共創の類型	官民共創 他分野共創（福祉・介護）
他分野共創の類型	介護・福祉・地域・まちづくり
共創パートナー	南砺市地域包括医療ケア部地域包括ケア課長寿介護係、南砺市総合政策部政策推進課交通政策係、社会福祉法人南砺市社会福祉協議会
運行形態	タクシーの貸し切り運行と原則、通常の運行形態のある公共交通をフル活用していく。
運行主体	福光タクシー株式会社

取組の概要

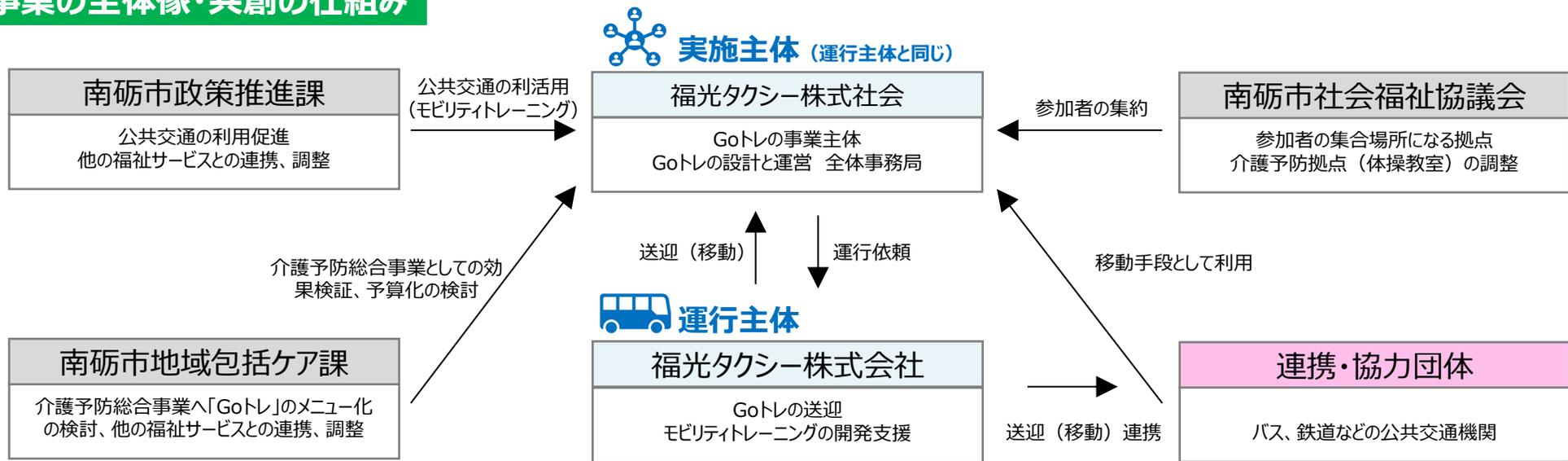
（現状の地域課題と事業目的）

高齢者率の高い中山間地域では、これからの5年後の移動課題を感じる人たちが多く存在する。そのような対象者へ介護予防としての位置付けで移動する機会を提供する「Goトレ」（富山県黒部市で開発された新しい福祉サービス：外出自主トレーニングプログラム）を導入し、南砺市（実証では福光エリア）の地域資源と移動資源をフル活用し移動課題の解決につなげる。また、交通事業者として比較的遊休時間となる時間帯に、人と車両を有効活用ができる収益性のある新規モデルの事業化を目指す。

（事業の概要）

南砺市福光エリアで「Goトレ」を導入し、公共交通の利用促進と介護予防の実現、また、交通事業者が主体の新しいビジネスモデルを構築できるか、さらに「Goトレ@ふくみつ」の事業化、持続可能なサービスとして提供できる体制の実現が可能であるかを実証実験より検証する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

本事業では、地域と交通と介護予防の課題を行政、福祉、交通事業者分野の連携と協働によって解決するモデルである。介護予防事業は比較的に単価が安く、事業参入が少ない分野であるが、交通事業者が事業主体となることで安定的な売上と遊休時間の稼働を上げ、収益性のある事業を実施することが出来る。GoTreプログラムで公共交通の利用も増やすことができ、更に様々な移動手段を体験（モビリティレーニング）することによって、普段の暮らしの中で移動の選択肢が増え、公共交通の利用頻度も上がる。介護予防総合事業のメニュー化を図ることで、介護予防財源を活用しながら移動支援も実現することができる。このように、移動というテーマに連携し協働で取り組むことによって、介護予防、公共交通の利用促進、事業の持続可能な体制を実現することができる。

(実証事業により見込まれる効果)

外出習慣を定着させることと、様々な移動手段を体験（モビリティレーニング）することによって、普段の暮らしの中で移動の選択肢が増え、公共交通の利用頻度も上がる。昨年度の黒部市での実証実験においても、GoTreの滞在地において、一人一回あたり約2,500円の消費行動がみられたことから人を動かすことよっての経済効果も見込める。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)



Goトレ@ふくみつ
介護予防・外出自主トレーニングプログラム

外出することが、介護予防に「地域丸ごとデイサービス化」

参加者募集!

- 公共交通で移動**
体験が終わったあとの時間に公共の乗り場まで送って市内公共施設等へお出かけします。スタッフは同行しますが、現場での行動は自由行動になります。
- データをとりまします**
外出時はウェアラブルを使用し、安全確保、健康管理、移動管理を行い、外出トレーニングの効果、おひとりおひとりの記録データをとりまします。
- 参加方法について**
実施日、行き先、参加費等については、Goトレスタッフにお尋ねください。お問い合わせ先は裏面に記載。

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①共創プラットフォーム全体事業 共創プラットフォーム会議(3回)	事務局設置		全体説明会	第1回会議			中間報告 第2回会議				最終報告会 第3回会議	
②Goトレ実証実験(7月-12月)			地区説明・広報 基礎調査									
ア. 実施地区			参加者 説明会									
			参加同意	Goトレ実証①(参加者10名/日)週1回(月2回)実施								
イ. 実施地区			地区説明・広報 基礎調査									
			参加者 説明会									
			参加同意	Goトレ実証①(参加者10名/日)週1回(月2回)実施								
③研究・プログラムづくり			プログラム検討	分析評価項目検討	プログラム検証 イベント参加者ニーズ規模調査							
④制度化、メニュー化					制度・メニュー化の検討 運営体制の設計							メニュー 確定
⑤国交省補助金申請 (共創モデル実証プロジェクト)	申請		決定	共創モデル実証プロジェクト実施期間								報告

(補助事業実施後の予定)

市の介護予防総合事業のメニュー化（介護予防財源での予算化）に向け事業実施体制と効果検証を行い正式なメニュー化を目指す。実証事業を踏まえ、事業者、利用者、行政の負担割合を検討し、交通事業者が実施することができるモデルになり得るものである。